

# へ声の森を歩くために

ーESDの中の生態学と文学ー

「失われるのは、ぼくらのほうだーざわめく〈多〉と〈他〉の世界」



**野田 研一** NODA, Kenichi

異文化コミュニケーション研究科教授。ESD研究所所長。1950年、福岡県生まれ。アメリカ文学、環境文学。主著に『交感と表象 ネイチャーライティングとは何か』（松柏社）、『自然を感じるころろ ネイチャーライティング入門』（ちくまプリマー新書）。編著に『環境という視座 日本文学とエコクリティシズム』（アジア遊学143、勉誠出版）、『〈日本幻想〉表象と反表象の比較文化論』（ミネルヴァ書房）他。

「生命のにぎわいー縦糸としての進化と横糸としての多様性」



**上田 恵介** Ueda, Keisuke

理学部教授。ESD研究所所員。1950年、大阪府生まれ。鳥の行動生態学、進化生物学。理学博士。主著に『花・鳥・虫のしがらみ進化論ー「共進化」を考える』、『擬態ーだましあいの進化論』1~2、『種子散布ー助け合いの進化論』1~2（築地書館）、編著に『行動生物学辞典』（東京化学同人）、監修に『鳥（小学館図鑑NEO）』（小学館）、『世界の美しい鳥』（バインターナショナル）他。

2016年3月14日(月)17時~19時 / 立教大学 池袋キャンパス 5号館5122教室

【主催】立教大学ESD研究所(esdrc@rikkyo.ac.jp tel:03-3985-2686) ※入場無料・事前申込不要